

第5回西脇市教育振興基本計画策定会議 会議録

開催日時	令和5年 9月6日 (水) 午前 10時 00分 ～ 時 分
開催場所	西脇市役所 大会議室
出席委員の名前又は人数	9人
欠席委員の名前又は人数	2人
出席職員の職・名前又は人数	12人
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	1人
議題又は協議事項	1 第4期教育振興基本計画素案の検討について 2 第4期教育振興基本計画素案（基本理念）の検討について
会議の記録（概要）	
<p style="text-align: center;">発言者</p> <p>教育長</p>	<p>○ 開会</p> <p>○ 教育長あいさつ</p> <p>皆さんおはようございます。本日は第5回目の西脇市教育振興基本計画策定会議にご参加いただき、ありがとうございます。</p> <p>さて、2学期が始まり、学校も生涯教育も佳境に入ってくる。本会議も5回目になり、委員各位におかれては平素の教育行政の推進のみならず、本計画策定にご尽力をいただき、感謝申し上げます。本第3期の振興基本計画は、あと半年余りを残すことになった。この間、教育もコロナ対応に明け暮れ、現在の中学生・高校生の多くは小学校・中学校で本来体験すべき経験を得ずして今現在ある。私の知人から、子どもが高校2年生だが学校に行きたくなくなるとか、今までと違い生きる活力がなくなっているが、どうすれば良いかと相談を受けているという話を聞いた。そんな子ども達が多くはないと信じたいが、学校教育の重要性について話があった。そんな状況で第3期の計画実行が満足できたかどうかについては、若干自信がない。</p> <p>本日はこれまでの各委員からのご意見を反映させ、素案を提示させていただく。本日含めてあと3回となり、最終局面に入ろうとしている。忌憚のないご意見をお</p>

	<p>願いたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 協議等 ○ 議事(1) 第4期教育振興基本計画素案の検討について
事務局	<p>資料1に基づき説明</p>
副会長	<p>ご質があれば、挙手願いたい。</p> <p>私から質問したい。まず、2ページの3行目に「より効果的で効率的に施策を総合的に推進していきます。」とあるが、教育の場において「効率的」と利益をあげるような文言を使うと、温かみが薄れるのではないか。温かみが薄れるような施策を展開していると捉えられるのは、やぶさかでない。それと「施策を総合的に推進していきます」は、一般的にはわかりづらいのではないか。少し注釈を加えたほうが良いのではないか。</p> <p>それと25ページの「ウェルビーイング」という言葉はよく使われるが、企業の言葉と教育では若干ニュアンスが違うのではないか。教育上の「ウェルビーイング」について、どこかに注釈が必要ではないか。</p> <p>それと35ページの「トライ・やるウィーク」は、「トライやる・ウィーク」である。</p> <p>それから47ページの「環境体験活動の実施回数」50回も、どこかで補いがあるはずである。これも注釈が必要ではないか。教育の中の他の学校行事で賄うようなことがあるなら、それに代えたほうが良いのではないか。</p> <p>それから76ページの学校の安全・安心で、測定指標は必要か疑問である。「通学路の危険箇所数」をここで表したところで、32か所全て危ないからそのまま置いているわけではないと思う。何らかの緊急措置や危険回避の措置はしてあるのではないか。それから、目標を20か所にしたところで20か所は危ないところがある。その上の2つ目の丸に「通学路の危険箇所や防犯上の危険箇所の点検・把握等」とあるが、関係機関と連携調整をする中で安全・安心の確保に努めていきたいとしたほうが良いのではないか。</p> <p>その他については、今後の国の施策等も1～2年後に進展していくであろうというところも取り入れられるような文言にしてあり、良いと思う。</p>
事務局	<p>順に現時点での考えを説明する。最初に2ページについて。我々の認識が不足していたと反省している。マンパワーが限られている中で課題がどんどん増えていくので、そういう意味で「効率的」な取組が必要だという思いはあったが、確かに誤った印象を与える可能性がある。ここはないほうが良いと思うので、調整したい。次に、</p>

事務局	<p>「施策を総合的に推進していきます」もご指摘のとおり説明不足だと思う。この意図としては、本計画に掲げる施策を総合的に推進していく、ということをお伝えしたかった。そういう訂正も含めて改めていきたい。</p> <p>各担当課でないと説明が難しいところは、後にさせていただきたい。</p> <p>35ページの「トライ・やるウィーク」の表記は訂正したい。</p> <p>「ウェルビーイング」も、基本的に目指すところは幸福に暮らすというところに最後はいくと思うが、今年度から始まった国の教育振興基本計画を策定する際に、中教審の資料にも「ウェルビーイング」の教育的な位置づけが出ていた。ご指摘のとおり必要だと思うので、注釈を入れることを前提に資料を改めたい。</p> <p>47ページの「環境体験活動の実施回数」について、目標値を設定した理由を説明したい。まず、兵庫県の教育委員会が行っている環境体験活動は、県の指導としては1校あたり3回以上行うよう指導を受けている。それを基に、令和10年度小学校数8校として、3回を8校で実施した場合の24回が県が定める目標の最低ラインと捉えている。しかしながら学校の現状としては、例えば稲刈りと田植えをセットにして環境体験をしているところもあるし、バスを借りてみどり園へ見学に行ったりしているところもある。そのような現状で、24回の最低ラインが倍としても約50回と考えている。過去にはこの環境体験活動で多く設定されており、ややもすると国語や算数・理科等の他教科の教育課程の実数へ影響が出るという課題があり、このようにしている。併せて、子ども達がいろいろな人間関係を作ったり、人や地域とのふれあいのために特別活動を活用して、このような体験活動を行っていくことも、本市の教育施策の中で今後計画している。そのような特別活動とも実際にはつながるところだが、その数も全て109回の中に入っていたので、取組の中身を整理したのが理由である。環境体験活動で今までできなかった部分については、特別活動で補っていきたいと考えている。</p> <p>続いて76ページの通学路の危険個所については、青少年センターで行っていることだが、県民局や警察、市長部局、学校の校長先生方にもご協力いただき、毎年危険個所をチェックして改善要求している。カーブミラーや横断歩道の設置、歩道の整備等、いろいろ改善しているところである。ご指摘いただいた関係機関との連携を加えることについては、検討したい。</p>
副会長	<p>76ページにはこだわりがある。この危険個所数がわかっているにもかかわらず放置していると、教育委員会の責任になる。対応しているなら、やっていると書いておいたほうが良いのではないか。</p>
事務局	<p>ただいまご指摘いただいた通学路の危険個所数の目標値としては、0が正しいのはその通りだと思う。ただ、その年によって新たに増えてくるものもあるので、20か所程度には抑えたいという気持ちで書いていると思うが、おっしゃるとおり誤解を招く表現だと思う。再度検討したい。</p>

副会長	<p>お願いしたい。対応していることで市民や保護者に安心感を与えてもらいたい。</p> <p>他にご意見はあるか。</p> <p>前回より整理されて見やすくなっていると思う。</p>
委員	<p>この目標値はどのような考え方で設定されているのか。例えば、34ページの「「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と考える児童生徒の割合」の目標値は100にはならないと思うが、このあたりの目標値のあり方についてのお考えをお聞かせ願いたい。</p>
事務局	<p>目標値の設定は最終的には個別の事業によって違いは出てくるが、5か年計画なので5年後にどうあるべきか、どういう状態にすべきか、という考え方で設定する。例えば36ページの現状値は3校で留まっている。必ずできるかどうかの課題はあるが、あくまでも令和10年度の目標値となれば全校実施が基本になるとして8校にしている。それから、例えば37ページのハーティネスメンバーズの見守り隊人数では、何人いればそれが適正か、つかみにくいところがある。そのようなものについては、現状の実績を踏まえて努力して実現していく人数を想定している。明確な根拠と言われると厳しいところもあるが、基本的な考え方はそのようになっている。</p>
副会長	<p>よろしいか。わかったような、わからないような数値になってくるが、目標はある程度経験値が入ってきて、ここまですれば穏やかな西脇市の教育になるのではないかと考えられる数値があげられていると思う。明確に何倍したらとか、何分の一にしたら良くなるとは出てこない数字になってくる。ある程度基礎の数値に専門的見地から想定した数値であると思わないと仕方がないと思っている。</p>
会長	<p>目標値は非常に難しい。特にいじめは、当然0を目指す。目標には大きく2通りあり、1つはゴール、もう1つはそこに至る途中経過、ターゲットである。いじめは0にしていくわけだが、令和10年の一里塚としてそこに近づくためにターゲットとしてここまでは頑張るというものが、この目標値である。目標は経験値だけでなく、単なる推移でもなく、委員会が努力すればギリギリでここまでならいけるというチャレンジングな一里塚を作っていくことだと思う。ある程度割り切らないと仕方がない。全部0や100%になってしまうと、現実的な目標ではなくなってしまう。</p>
副会長	<p>そのとおりだと思う。確固たる数値は、まず見つけられない。そういう意味で、専門家としての経験値と申し上げた。</p>
会長	<p>目標値の妥当性をみるのであれば、同規模の他市がどのあたりを目指しているかが一つの目安になると思う。</p>
副会長	<p>マイクを渡してよろしいか。</p>
会長	<p>とりあえず一段落してから。</p>
副会長	<p>私が見る限りでは、わかりやすい構成になっていると思う。これまでの議論の中で修正を重ねてきてもらっているので、大きな修正はないと思う。あと、これを実施しやすいようなプランにする視点から見ていく必要がある。あと1回検討できる機会が</p>

	<p>ある。次のまとめの会で決定することになる。疑問に思われたことは、今出してもらったほうが良いと思う。</p> <p>では、とりあえず本日のご意見を元に修正なり考慮していただくということで、議事(1)については終了したい。</p> <p>○ 議事(2) 第4期教育振興基本計画（基本理念）の検討について</p>
事務局	資料2に基づき説明
会長	基本理念を議論するのは難しい。全員から一言ずつお願いしたい。感想でも何でも結構である。
委員	良いと思う。「織りなす」が西脇市の織物にかけられていて、良いと思う。
委員	主題の「人間磨きの教育」は、教育というよりも自分の人間というものをどうしていくのか、というところが強調されているように思う。生涯を通してそういうふうにして生活ができれば良いと思う。力強い。副題に関しては、スッと入れるような表現になっているので良いと思う。
委員	主題の「人間磨きの教育」は、生涯わたっての教育、子どもだけでなく西脇市民全員の人間性を磨いていくことが伝わり、良いと思う。
委員	私は就学前教育の場にいたので、子ども達が持つエネルギーを毎日降りかかるように感じてきた。元気さやいろいろなことを幅広く受け止めていく素直さを、大事にしていきたいし、してほしいという願いがある。「人間磨き」は、そこに繋がっていくので良いと思った。副題に「にしわき」をあえて入れたことについて、説明をお願いしたい。
委員	今回の「人間磨き」は、スッと腑に落ちる。生涯成長して磨きあえる教育が連想できるので、支持したい。副題も覚えやすい言葉で私は良いと思っている。
委員	最近バスケットボールの日本代表選手のいろいろな考え方や取組、大谷選手の暮らし方等を見聞きする中で、このような人間としてという部分を考えることが大事だと思うし、賛成である。私の父親は96歳で2年前から車椅子で家の中にいる。楽しみは阪神の野球を観ることぐらいだが、最近テレビでもお金を払わないと観れない。結局時間が過ぎるのを持っているような生活になってしまっている。教育の対象を100歳の人まで広げ、自分で出かけて自分磨きできない人も含めて考えていることを確認した上で、今後5年間一緒に頑張りたい。
委員	副題の案として、「未来を拓く たくましい あたたかい人財の育成」を考えた。それと、今の副題の「にしわき」を「ふるさと」の後に入れて「ふるさとにしわきを愛し 未来織りなす 人づくり」はどうかと思った。
委員	私は主題の「人間磨き」に硬さを感じている。わかりにくいかもしれないが、これ

副会長	<p>を「ブラッシュアップ」に変えて、もう少し未来感のある新しい匂いのする形に変えたほうが良いと感じている。副題は、先ほど言われたように「ふるさと」の後に「にしわき」が入っているほうが良いと感じた。</p> <p>私は主題・副題ともに非常に考えられていると思う。皆ふるさとはあり、私の妻もそうだが、西脇だけがふるさとじゃない人もいる。自分のふるさとも愛し、その中で西脇の未来を愛してもらいたいという思いがこもっていると解釈していた。</p>
会長	<p>私も非常にまとまっていて良いと思う。特に「人間磨き」はインパクトがある。他の教育振興基本計画では使わない言葉だと思う。「ふるさとにしわき」にするかどうかは、今藤原副会長がおっしゃったように、確かによそから来る方もいる。そのあたりに配慮した内容になっていると思う。私は総論的には賛成である。</p>
事務局	<p>先ほどのご質問に対して、事務局から回答をお願いしたい。</p> <p>「にしわき」を入れた理由について、ご質問があったと思う。前回会議の資料3で基本理念案を4つご提案した。そのうちの一つに「にしわきの未来を切り拓く人づくり」があった。そのことについて、ご賛同いただくご意見があったと記憶している。いろいろなキーワードが出たので、可能な範囲で拾えるようにご提案した。</p>
委員 浅野会長	<p>副会長のご意見を伺い、そのとおりだと訂正させていただく。</p> <p>一通りご意見をいただいた。これは最終的にパブリックコメントにかける。皆様から概ねご賛同いただいたので、これを委員会から出す理念案として、パブリックコメント後のご意見を踏まえて最終のところで結論を出したい。</p> <p>全体を通して何かご意見があれば、お願いしたい。</p>
事務局	<p>○ その他</p> <p>次回は10月下旬頃に開催したい。パブリックコメントを実施する前に案を固めて、審議会としての案を市民の皆様に見ていただき、それでいただいたご意見を踏まえ、パブリックコメント終了後に審議会でご承認いただくスケジュールで考えている。</p>
会長	<p>次回パブリックコメント前の最終の素案をご提案いただく。そこでもう一度意見を言う機会がある。パブリックコメントに出す素案は、なるべく早く各委員の手元に送っていただきたい。パブリックコメントのご意見を活かすか活かさないかの案を事務局から提案いただき、それが妥当かどうか、パブリックコメント後の最後の会議で検討する。あと2回会議がある。</p>
事務局	<p>次回は10月下旬を目途に、早めにパブリックコメントにかける案を作り、委員の皆様へ提示したい。</p> <p>○ 閉会</p>

